



多様な人材がひとつになつて生み出す新たな魅力。



パリ祭で賑わう円頓寺商店街

取組

円頓寺 秋のパリ祭



イベント



連携・協働

### ◆取組を開始したきっかけ

名古屋駅にも近い円頓寺商店街の歴史は古く、商店街付近には江戸時代から続く蔵や町家、堀川の水辺があり、散策コースとしても親しまれている。また近年、若い店主による若者向けの新しい店舗が増え始めている。

その中で、商店街では集客はもちろんのこと、各店主の意識向上のきっかけとするために多くのイベントを開催している。

そして、商店街を活気づけるための組織として、円頓寺商店街のほか、円頓寺本町商店街、四間道界隈の商店主を中心に、多岐にわたる人材を集めたグループ「那古野下町衆」を平成19年に発足させた。

那古野下町衆の行うイベントに「円頓寺秋のパリ祭(以下「パリ祭」とする)」がある。平成25年10月に初めて開催されたイベントであるが、このイベントを企画したきっかけは「パリが好き」という一人の店主の言葉だった。この店主は幅広い世代で

人気のあるまち「パリ」をテーマにすることで、近年増え続ける若者向け店舗との相乗効果による、若い世代の集客を見込んだ。その後、企画に賛同した当商店街のフランス好きや、フランス情報誌の発行者も加わり、那古野下町衆の中から円頓寺パリ祭実行委員会が誕生した。



普段の商店街の様子

### 取組の概要 >>>>

円頓寺商店街は200mほどのアーケードの下に昔ながらの街並みを残している。古くは明治創業の老舗の着物屋さんや下駄屋さん、新しいところでは、スペインバルやイタリア料理店、沖縄料理店等が混在しており、新旧の文化が入り交じる商店街である。

パリ祭では、フランスを感じさせる文化(食・雑貨・音楽等)を、名古屋市内はもとより愛知県内外から参加した様々な店舗やアーティストの力で、商店街の新たな魅力の一つとして発信している。イベントは、フランスをテーマにしたビストロやパン、ファッション、雑貨等様々なジャンルで70を超える出店者が集まり、野外及び屋内のライブ会場では国内外のフレンチ系アーティストが音楽祭を繰り広げた。

更にイベント当日は、商店街のアーケードはパリのマルシェ(市場)をイメージしたカラフルなテントで彩られ、商店街一帯がフランス色に染まった2日間となった。

こだわりポイント!

円頓寺商店街では、商店街が開催するイベントに加え、近年では外部団体から商店街へ持ち込まれるイベントが多くなってきたため、那古野下町衆の役割は大変重要である。

那古野下町衆は往時の商店街の賑わいの回復のため、イベントの企画運営、出店者の誘致等、那古野周辺のまちづくりについて毎月会合を行なっている。那古野下町衆のメンバーは、商店主だけでなく、名古屋で活躍するクリエイター、大学関係者、コンサルタント、建築家等幅広い分野の専門家で構成され、いずれも円頓寺や四間道界隈を愛する人々である。また、那古野下町衆から各イベントの実行委員を選抜する際には、企画から運営までを円滑に進めるため、チームが少人数となるように調整されている。



幅広い分野の専門家で構成された「那古野下町衆」

### ◆取組の効果と課題等

パリ祭期間中は日常出入りしないような若者が来街し、その中にはパリ祭を通じて円頓寺商店街を知った人も多し。また、他商店街にはないパリという当地域では珍しく、裾野の広いテーマのイベントとしたため、出店希望者も多く集まり、メディアからも注目を浴び、商店街の知名度向上に寄与した。



パリ祭での様子



普段の商店街の様子

しかし、パリ祭に限らず、イベント時の集客は増加傾向にあるものの、十分な日常の集客増には至っていない。名古屋駅から散策しながら当商店街に足を運んでもらう等、人の流れの仕組みを考案する必要がある。

### ほかにもこんな取組をしています

映画「WAYA!  
～宇宙一のおせっかい大作戦～」

映画「WAYA!～宇宙一のおせっかい大作戦～」は、平成23年に円頓寺商店街の未来を想う有志が、商店街の持つ魅力、人と人のつながりの大切さをより多くの人たちに伝えるために制作した映画である。商店街を題材にしたこの映画は、実際に円頓寺商店街で撮影された。映画の中では、商店街の店主が他人の家族の私生活におせっかいなほどに関わり合う、古き良き近所付き合いが描かれている。

時代の流れに伴い、商店街は変化し続けている中で、全国のどここの商店街にでも残っている良き姿、心温まる人情を描いている貴重な作品となっている。



▲撮影風景 ▼映画のチラシ



(C)WAYA! LLP

商店街DATA 円頓寺商店街振興組合

“那古野下町衆ホームページ” <http://nagosyu.net/>

所在地 ● 名古屋市区那古野1丁目6-10 アクセス ● 地下鉄国際センター駅 徒歩5～7分 設立年月日 ● 昭和38年 組合員数 ● 25名  
代表者 ● 高木 麻里 (はきもの「野田仙」) TEL ● (052)-551-0197